

2022年、今年を「観光再生元年」に

新年トッピンインタビュー

観光復興の行方

長引くコロナ禍からの観光復興はどうあるべきか。新しい年を迎え、日本観光振興協会の久保田穰理事長、日本政府観光局（JNTO）の清野智理事長に現状や展望を聞いた。



響も大きい。

旅行先として日

旅行先として目

コロナ下でも地域の魅力発信
サステナブル観光へ対応課題

治体で運動した「Fun From Home」という事業には、地域の魅力をJ-NOのSNSなどを活用してライブ配信している。またDMOなどから体験型の観光コンテンツを集めて発信する「Experiences in Japan」という事業も継続している。これらの事業では、海外事務所によるマーケティングのコンサルテーションを通じて、地域との関係が強化できたと考えている。

——混雑を避けたという二ノスは、地方誘客に好機となりそうだ。

二ノし「自然豊かなくとも、自然豊かなところに行きたいという意向を持つ人が増えるだろう。そうすると地方への関心が高まることになる。自然アクティビティ、文化体験で構成されるアドベンチャー・発目標」などの観点から、J-

「聞き手」向野信

旅したいという欲求が備わっ

が、先を見据えた誘致に取り組んでいる」

——インバウンドの復活に向けて事業者や地域にメッヤージを。

「人には、知らない土地を

「コロナ禍の長期化で、インバウンドをとりまく環境は依然として厳しい。」

「先を見通すことが難しい状況だ。一時は政府が水際対策を緩和し、訪日旅行の再開に向けて2021年中にも団体旅行の実証事業を行う方針を示したことで、明るさが出てきたと感じたが、新たな変異株の出現で状況が変わった。状況は骨に変わるが、日本の観光施設や公共交通の感

「JNTOの使命はインバウンドの振興だが、国際観光を再開できない状況下では、国内観光の活性化に力を入れなければならない。新たなGOTOトラベル事業なども検討されているが、コロナ禍も足かた3年に及び、事業者や地域の状況は相当厳しい。訪日外国人旅行者が戻ってきた時に、国内の観光地に活気があるような状態にしたい」

本は高い人気を維持しているが、競合国に比べて情報発信力が少ないければ、他の国・地域に旅行者を奪われてしまう。海外事務所などから継続的に日本の魅力を発信している。新たなプロモーションとして、バーチャルライフツアールと巨COMSを組み合わせた中国市場向けに展開している。21年9月の九州を皮切りに、年度内に全国8地方で実施する。日本在住の中国

「ロナ後の訪日民」
 一スや行動はとう変わつてい
 ます。観光情報発信にももう
 と同時に、その土地の産品を
 紹介してもらい、ライブ配信
 中に越境Eコマースの形で販
 売している。旅行情報に比べ
 れは、小さい金額が、地域
 経済に貢献してきている」
 「自治体やDMOと連携し
 た情報発信も強化している」
 「日本は皆さまがお待ちして
 います」というメッセージを
 伝え続けることが重要な。自
 などの工夫が求められる。混

後のツーリズムを主旨に、コロナと連携して取り組まないと、観光資源を磨き上げ、地方の必要がある。JNTOとしても、外国人目線のコンサルティングや海外へのプロモーションを通じて地方誘客に努めている。」「もう一つの流れは、環境、文化、地域社会などを持続可能な一つの観光の在り方、サステナブル・ツーリズムへの意識の高まりだ。欧州を中心としたハイブ

【国際会議は、コロナ禍でオンライン開催のシフトが顕著だが、学術関係者などに聞いても、充実した議論にはリアルな会議が必要だと言う。もちろんリアルな費は下げられ、地域での旅泊費は生かされる。コロナの収束後もオンラインを併用したハイブ

と連携して取り組まないと、国際会議はMICEの復活も課題だ。



日本観光振興協会 理事長
久保田 穰 氏

方、危機管理体制の在り方なども探た。」「ロナ禍は収束に向かうと思われたが、変異株「オミクロン」が流行の兆しを見ている。22年はどんな年になるだろうか。」「先行きは見通しづらいロナと共存するのかもしれない。これまで受けてきた経験を生かし、安全安心な観光を提供していくことを考えるべきだ。」「11月20日に岸田内閣総理大臣に会い、緊要要請としてGo To Travelの一刻も遅く再開を求めた。」「観光はもともと地域に目を向けるいい機会になったが、観光はもともとダイナミックに活動し、そして新たな経験、体験を通じて人間としての幅を広げるのが醍醐味。役割が、ワクワク、検査パッケージなどを活用し、早く長距離旅行でもできるようになっては。」「観光客を満足させるには観光の質を上げることが何より大事だ。旅館・ホテルに限らず、事業者全体で考える必要がある。インバウンドは必ずしも戻って来るだろうが、今

は、

「初めての試みだ。当日は沖繩県立中部病院の感染症内科・地域ケア科の高山義雄部長に講演していただいたが、グリーン・ゾーン施設で効果を上げている製薬会社によるパネル討論も行った。医療関係者の関心を強めるために勉強会なども開

【聞き手：内井高弘】

経験を生かし安全安心を提供
 キーワードは品質と総合力

な課題であり、観光業界も無関心ではない。地域と観光業界、医療業界が一体となって安心安らいだ」

品を方向するすれば国際競争力にフランスになる。これは観光にも通じること。地域で観光に関わる品物を提供していくことが重要だ。事業の努力に加え、国の支援にかせない。最大のテーマ「ないか」

日振飯は今後どんな事を開く。

コロナ禍で人々の移動が止まれ、観光業は大きな打撃を受けた。感染拡大防止と社会経済活動を行うこと、両方をするのはよくない。観光客の誘致も必要だが、観光客の誘致だけでは足りない。観光産業最大のイベント「ツーリズムEXPO」については、

①一年前は1月に大阪で開催予定だったが、コロナ禍で中止となった。ツーリズムの意義を発信するイベントであり、22年は9月22～25日に東京ビッグサイトでの開催を予定している。ウイズ・アファタという会社を買収し、①ニューノーマル時代の新しい旅のかかわりの体験②旅の力で地域振興（観光客の誘致）③国際交流の促進（観光客の誘致）

迎春

本年も宜しくお願い申し上げます

昨年、日本旅行グループに格別のご高配を賜りありがとうございました。
2022年は、各地域の皆様との一層の連携のもと、
地域を元気にする商品造成や販売展開を推し進め、
お客様ならびに皆様のご期待に応えてまいります。

赤い風船

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

赤い風船

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

HELLO KITTY
©2022 SANRIO CO., LTD.

©2022 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L621701

Japanese Beauty Hokuriku

それは、西にある。

DISCOVER
WEST

皆様の日頃のお心遣いに感謝申し上げます。
これからもお客様に喜んでいただける国内旅行をご提案してまいります。

